

ア キャリア教育の充実 評価項目（生徒：1～8 保護者：1～4 教員：1～9）

- ・全体的に3以上の評価で良かったです。ただ、生徒さんの6「2・3年次生KS、KAを通じて学ぶ意欲や自信につながった」の評価が学年が上がると落ちる傾向があるのが気になる。モチベーションの向上も課題かも知れない。
- ・生徒は、「学び」と「キャリア形成」に理解を示していると思われる。一方、保護者は、取り組みの理解が低いように思われる。機会のある時に、折々での説明が必要か。
- ・生徒は平均3以上の回答が多いが、保護者（特に2年次）の回答が全て3以上であり、生徒と保護者との間に相違が感じられる。
- ・教員の7「K-B、S、Aはワンランクアップの進路実現に結びついた」の回答が2.55と低く、進路実現に結びつける難しさを感じた。

イ 学力の向上 評価項目（生徒：9～16 保護者：5～12 教員：10～16）

- ・学力の向上についても、学年が上がると落ちる傾向がある。
- ・3年次の評価がやや低いのが気がかりである。最終学年で評価を下げるのは、分析も必要であろう。また、教師の努力が報われていないのも気になる。
- ・9「本校は豊かなキャリア形成の礎を作った」の回答（生徒）で1年次から3年次に学年が上がるにつれ、平均が低くなっていることが気になる。
- ・9～16「学力の向上」の3年次生の回答が比較的低いのが気になる。
- ・学習計画については全体的に平均回答が2.31以下であり、なかなか定着するのが難しいと感じた。

ウ 人間力の育成 評価項目（生徒：17～24 保護者：13～21 教員：17～25）

- ・神戸甲北生として恥ずかしくない生活を送っているとのこと、とても良いと思う。生徒からの公平な生活指導といじめについての対応が3年次で低いのは、少し心配です。
- ・3年次生の回答18「どの先生も共通の基準によって公平な生徒指導をしている」、19「本校は生徒の悩みを聴く相談しやすい体制がとられており、いじめについても適切な対応がとられている」の評価が低いのは大きな課題である。
- ・保護者の回答14「どの教員も共通の基準によって公平な生徒指導をしている」と、生徒の回答18に差があるのも理解が難しい。
- ・3年次の18、19の平均回答が低く、1・2年次との差は何であるか知りたい。教員の平均回答2.59と3年次の温度差はなぜか。

エ 教師力の向上と学校の特色化

評価項目（生徒：25～30 保護者：22～28 教員：26～34）

- ・今年はコロナ感染の影響で先生方も大変だったと思います。4、5月の生徒への連絡や学習指導と新しい活動に臨機応変に対応していただけたと感じている。
- ・三者の回答に乖離は少ない。だが、全体のボトムアップを図りたい領域である。
- ・生徒の24～29の回答は「ア」と同様、1年次から学年が上がるにつれて平均回答が低くなっており、学校生活が長くなると希望が持てなくなるのかと感じてしまう。